

ニューズレター ヘリンガー・インスティテュート・ジャパンより  
News-letter from Hellinger Institute Japan

このメールは、これまでに小林真美（チェトナ小林）のファミリー・コンステレーション、システムック・コンステレーションのワークショップにご参加いただいた方々にご登録の方々にお送りしています。

# 9-2014年12月

こんにちは。  
ヘリンガー・インスティテュート・ジャパンのチェトナです。

もしかしたら、これは今年最後のニューズレターかも知れません。

来年からは出だしの言葉を「チェトナです」から  
「小林です」に変えようかとただ今思案中です。  
なんだか小学生の手紙みたいかなと、ふと思ひまして。

翻訳も終盤戦に入り、肩こりもピークの今日この頃。

ここ一ヶ月以上、ほとんど家にこもって机に向かっているような日々で、  
家から出るのは週に1回か2回、食品の買い出しに行く程度の毎日を送っているため、  
完全に筋肉が衰えています。  
何もないところでつまづくようになり、昨日は郵便物を取りに出て、玄関前で転んで手を擦りむきました。（泣）

皆さん、運動不足に気をつけましょう。

翻訳をしている中で気をつけなくてはならないこととして、  
外来語をカタカナのまま使うのではなくて、  
できる限り日本語にちゃんと訳すということがあります。

カタカナのままだと、わかったような気がしているだけで、  
実は意味を曖昧に捉えているだけということが良くあるからです。

そのように気をつけて作業を進めていくと、  
実はこれまで言葉と真面目に向き合ってきていなかったと気づくことが多々あります。

そこから思い至ったことを今日はつづります。

## 「自分」

外来語というのは厄介なもので、日本人の感覚にない言葉がたくさん存在しています。

言葉は私たちが漠然と抱いているイメージに、輪郭を与え、色付けし、明確化し、そして、制限し、暗示し、他者と関わらせます。

私たち日本人が「山」という言葉で思い浮かべるものと、アメリカ人が思い浮かべるものが全く違っていることがあります。

またアメリカ人であってもアイダホの人が思い浮かべる「山」と、コロラドの人が思い浮かべる「山」では違っているかも知れません。

例えば、リラックスという言葉日本語に置き換えようとする時、「寛ぎ（くつろぎ）」とか、「緩む（ゆるむ）」とか、「和らぐ（やわらぐ）」であったりするのですが、例えばこれら三つの言葉は、私たちが「リラックスする」と言ったときの感覚とぴったりくるのでしょうか？

シアトルに住んでいた頃、友人たちと山歩きに行った時に、私たちが森に向かって歩き出したところ、ちょうど森から帰ってくる犬を連れた女の人とすれ違いました。

その人は「熊がいたわよ」と教えてくれました。一緒にいた友人たちは「へえ～、ありがとう」とか言っちゃって、どんどん森に入って行こうとするのです。

私はすぐんで、足取りが重くなっていき、友人たちが冗談を飛ばしながら、どんどん歩いていくペースについて行けなくなり、とうとう一人が「どうしたの？」と尋ねてくれました。

「だって熊を見たって言っていたでしょ？  
このまま森に入ったら出くわすかもしれない」

友人たちは目が点になっていて、笑いながら「ダイジョーブ、ダイジョーブ、ノープロBLEM」とか言っちゃってくれるのですが、私の目は恐怖にどんどん死んでいく。

北海道生まれの私が思い浮かべる「熊」はヒグマであって、ツキノワグマではありません。

友人たちが思い浮かべていたのは人間程の小型種のブラックベアで、私が思い浮かべていたのはヒグマと近い種のグリズリーです。

結局、その散歩道でその女性が見たのはブラックベアで、グリズリーじゃないから大丈夫と説得されて、そのまま生きた心地なく散歩し、結果私は生きて帰って来て、今これを書いている訳です。

これは同じ「熊」という言葉から、聞く人によってこんなにも思い描くものは違うのー！と実感した経験の一つです。

地域や文化、習慣、生い立ち、経歴によって、想像したり、想定したりするものはとても変わります。

翻訳をしながら思うのは、江戸時代後期から明治時代初期に、外国語を日本語に置き換えていく作業をされていた方々の苦勞です。

例えば、「社会」という言葉も、「個人」という言葉も、また「恋愛」という言葉も、その頃の日本にはありませんでした。

※参照：岩波新書「翻訳語成立事情」柳父 章著

日本にあった「社会」に近い言葉は「寄り合い」だったり、「世の中」だったり、また「個人」に近い言葉は「人」だったり、「ひとりの人」だったり、

「社会」と「個人」が対立する構造だったのに対し、元々、日本にあった「寄り合い」や「人」と言う言葉の意味そのものが、対立ではなく、肩を寄せ合い、支え合う構造を為しているのです。

こんなにも発想が違うのに、人はどうやって理解し合うことが可能なのでしょうかね。

このところ私が思い巡らしている言葉に「自分」があります。

戦後の教育を受けた日本人には、  
お互いがお互いを信用できなくなるように、  
それこそ寄り合いが消滅させられるような分断化が進みました。

個人主義こそ欧米化！みたいな風潮があり、  
私たちの多くはそれがかっこいいと信じて大人になりました。

そのことを思い巡らしているうちに、  
そういえば「自分」という言葉は「自らを分ける」という意味なのか？  
と思い、一瞬寒い気分が背中を走りました。

自己主張し、  
わかってもらいたがる人が増え、  
自分のことにしか興味のない人がたくさんになると、  
確かに「自分が」「自分が」と、  
個としてバラバラに分断されていくような気がして、  
まさか「自分」って言葉も元々日本になかった言葉なのか？  
などと考えてみたのですが、  
それはどうもしっくり来ません。

それで、本を何冊か読みあさってわかりました。

かつて使われていた「自分」という言葉の意味は、  
「自らの分を<sup>わきま</sup>弁える」なのです。

分相応であり、  
背伸びもせず、  
卑下することもなく、  
身の丈で生きるのが「自分」だと私は理解しました。

果たして、  
今の私たちの使っている「自分」の意味は、  
どちらになっているのでしょうか。

私たちは自らを家族や、  
友だちや、同僚や、世の中や、生まれた育った土地や国、神々から分けて、  
切り離していないでしょうか。

私たちは自らの分を<sup>わきま</sup>弁えて、  
身の丈にあった大きさで生きているのでしょうか。

お父さんとお母さんの子供で、

おじいさんたち、おばあさんたちの小さな孫で、  
兄や姉より小さく、  
弟や妹より大きい、  
自分の子どもたちや、  
地域に育つ幼い命を見守ることのできる、  
先人に恩や感謝を感じることで出来る大人として、  
今を紡いでいるでしょうか。

私たちは・・・今どちらの自分を使っているのでしょうか？

この記事はいずれ、私のブログや、フェイスブックに転載する予定です。  
無断転載、無断転用を禁じます。  
©小林真美-ヘリンガー・インスティテュート・ジャパン Nov/2014

以下、いくつかのお知らせです。  
2月と3月にワークショップを開催します。

○ 小林真美 (チェトナ小林) オープンワークショップ

日程：2月7日 (土)・8日 (日)

会場：本八幡駅 (総武線、都営新宿線) から徒歩10分

詳細はお申込みの方にお知らせします。

参加費 一般：38,880円/2日間 (36,000円+消費税)

トレーニング生：32,400円/2日間 (30,000円+消費税)

主催：ヘリンガー・インスティテュート・ジャパン

お問い合わせ・お申し込み：ヘリンガー・インスティテュート・ジャパンまで

○ 小林真美 (チェトナ小林) オープンワークショップ

日程：3月7日 (土)・8日 (日)

会場：本八幡駅 (総武線、都営新宿線) から徒歩10分

詳細はお申込みの方にお知らせします。

参加費 一般：38,880円/2日間 (36,000円+消費税)

トレーニング生：32,400円/2日間 (30,000円+消費税)

主催：ヘリンガー・インスティテュート・ジャパン

お問い合わせ・お申し込み：ヘリンガー・インスティテュート・ジャパンまで

○ 8期トレーニング募集要項はこちらです。

<http://www.hellingerinstitutejapan.com/schedule/training8.pdf>

ご希望の方に募集要項をお送りします。

こちらまでお知らせください。E-mail:info@hellingerinstitutejapan.com

- 6期ファシリテーター養成コース 平成26年春開講します。

5期までの修了生の方、6期研究コースを受講中の方でご希望の方に募集要項をお送りします。こちらまでお知らせください。E-mail:info@hellingerinstitutejapan.com

- 7期研究コース 平成26年春開講します。

5期までの修了生の方、6期研究コースを終える方、7期基礎コース受講中の方でご希望の方に募集要項をお送りします。こちらまでお知らせください。

<http://www.hellingerinstitutejapan.com/contact/>

- 個人セッションをやっています。ホームページをご覧の上、ご連絡ください。

<http://www.hellingerinstitutejapan.com/guide/session.html>

- ビジネス・コンステレーションでは組織や会社の弱点を一目で把握することができます。ご相談ください。ご連絡はこちらまで。

<http://www.hellingerinstitutejapan.com/contact/>

☆ 不定期ですがブログにときどき思いついたことを書いています。

ブログです。 [http://blog.livedoor.jp/chetna\\_by\\_the\\_river/](http://blog.livedoor.jp/chetna_by_the_river/)

☆ 時々、ツイッターでもつぶやきます。Chetnats <https://twitter.com/chetnats>

☆ フェイスブックも、やっていたりします。

よかったら覗いてみてください。 <https://www.facebook.com/chetnamami.kobayashi>

小林 真美 (チェトナ小林)

ヘリンガー・インスティテュート・ジャパン

札幌オフィス：TEL:011-662-9576

<http://www.hellingerinstitutejapan.com/>

お問い合わせ：<http://www.hellingerinstitutejapan.com/contact/>

千葉オフィス：市川市

